



—市民生活の安全・安心のために—
政策立案や政策提言を実行する議会へ

白石市議会議長

志村 新一郎
Shinichiro Shimura

昨年3月には、総務産業建設常任委員会、厚生文教常任委員会において、本市の課題に対して先進事例などの情報収集と積極的な議論を行い、市長に対し政策提言書を提出いたしました。

また、公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられておりますが、若い世代にもわかりやすく、関心を持ってもらえるよう、身近で、より開かれた

東日本大震災から6年9カ月がたち、東京電力福島第一原子力発電所事故から端を発した放射能問題のうち、放射性物質で汚染された1キログラム当たり8,000ベクレルを超えた指定廃棄物については、市内6カ所の仮置場に保管しておりますが、うち4カ所が指定解除となり、仮置場が撤去されました。

このほか、同事故の影響でイノシシの繁殖増加による農林作物への被害拡大や東京電力への損害賠償請求の問題など、また時間がかかるものと思っておりますが、市議会においても、今後も引き続き、議員一丸となって市民生活の安全・安心のために活動してまいりたいと考えております。

さて、本市議会では、積極的に議会改革を進めており、平成26年12月に制定した「白石市議会基本条例」に基づき、積極的な情報の公開、市民と議会の意見交換会などの公聴活動による市の政策や課題に対する政策立案と提言を行っております。

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた平成30年の新春を、晴れやかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

市

民の皆さま、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた平成30年の新春を、晴れやかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

—飛躍への新たなステージ—
「市民の笑顔あふれる白石」の実現へ

白石市長

山田 裕一
Yuichi Yamada



昨年、「第11回全国和牛能力共進会」が宮城県で開催され、本市の牛2頭を含む「仙南和牛改良推進組合」が、種牛の部4位の快挙、総合評価群で優等賞6席入賞を果たしました。

また、2年目を迎えた「食味日本一」の『しろい米』復活プロジェクトは、白石産ササニシキの作付面積を拡大。新たな販路を開拓するなど、広がりを見せています。

さらに、白石市・柴田町・仙台大学で組織する「東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」の活動が実を結び、ペラルーシ共和国新体操ナショナルチームの招致に成功しました。県内初となる事前合宿が実施されるとともに、ホワイトキューブで開催した「新体操演技発表会」に出演され、世界トップレベルの華麗な演技を披露。多くの皆さまにお越しいただきました。

本年は、これらを弾みとし、「第5次白石市総合計画」に掲げる「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を推進するとともに、「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けた施策を一体として展開し、人口減少という喫緊の課題に対応してまいります。その中でも、福岡長袋地内の国道4号沿いに整備を進めている「農工商連携を核とした賑わい交流拠点」を、子育て支援・多世代交流複合施設を皮切りに順次オープンさせ、子育て支援の充実と賑わいの創出を図ってまいります。

また、本年は「全日本こけしコンクール」

明

けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

が第60回、「農業祭」が第40回を迎えるとともに、「戊辰戦争から150年」を迎えます。この節目の年に、奥羽越列藩同盟の舞台となった白石城をはじめ、本市のさまざまな歴史を見つめ直し、市民の皆さまとともに白石市の未来を考える契機となるよう、歴史・文化の発信強化に努めてまいります。

本年も、市民の皆さまとともに「笑顔あふれる白石」の実現に向け、各種施策に全力を傾注し取り組んでまいりますので、市政運営に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年 新年のごあいさつ

～成年へ チャレンジ～



1_12月15日に行われた子育て支援・多世代交流複合施設整備工事安全祈願祭で、鎮入れをする山田市長 2_安全祈願祭で玉串を神前にささげる志村議長

市議会づくりに努めなければなりません。このような活動を通して、議員資質の向上を図りながら、今後も継続的に政策立案や政策提言を実行する議会を目指してまいります。

今後とも、市民福祉の向上と白石市の発展のため、なお一層の議会改革に取り組みたいと思っております。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年が輝かしい1年となりますことを議員一同ご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

「農工商連携を核とした賑わい交流拠点」（「子育て支援・多世代交流複合施設」、「農産物等販売施設」、「地元食材活用レストラン」、「6次産業化加工施設」など）の整備が進められる福岡長袋地内（平成29年12月8日撮影）